

立沢里山

平成24年5月5日 第25号

立沢里山新聞

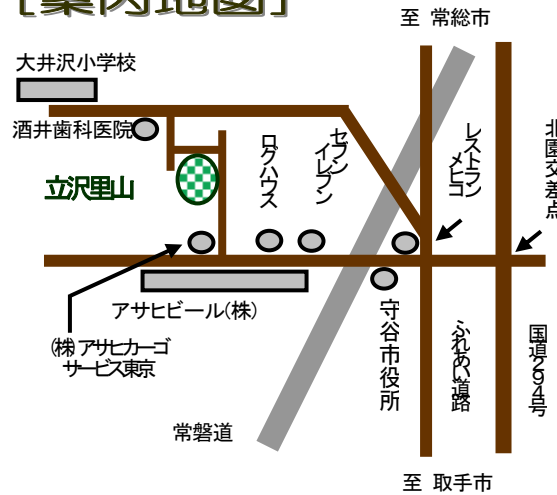
発行：立沢里山の会 代表 鈴木 榮
 問い合わせ先：事務担当
 須賀（守谷市役所内 45-111 内線 351）
 立沢里山ホームページ
<http://www.geocities.jp/tatzuzawasatoyama/>

ボランティア募集
 もなたも一輪に楽しみましょ！

～目次～

- 1 竹林整備、加工作業 12月～
- 2 平成24年作業計画について
- 3 木道橋の改築 3月～
- 4 放射能測定 3月31日
- 5 炭焼き、窯だし 4月3日～
- 6 田んぼの学校の準備作業 4月28日～

【案内地図】



「立沢里山新聞」の記事をお願いします

denen21@hb.tpl.jp

清野



2 平成24年 立沢里山の会 事業計画

月・日・時間等	活動内容	区分
2/26(日)9:00～	竹加工作業(定尺裁断)	会員(竹林)
3/24(土)9:00～	竹加工作業(小割)	会員
3/25(日)9:00～	木道橋架設作業	会員
3/31(土)9:00～	竹運搬、窯詰め込み	会員等(自然博物館内炭窯)
4/3(火)9:00～	竹炭焼き:火入れ	会員等(自然博物館内炭窯)
4/28(土)9:00～ 13:00～	田んぼの準備 定例打ち合わせ	会員、学校等
5/未定 9:00～	田んぼ代かき等	会員、学校等
5/未定 9:00～	田んぼの学校:田植え	小学校児童
6/23(土)9:00～	田んぼ除草等	会員、学校等
7/28(土)9:00～ 13:00～	除草, 自然観察会 定例打ち合わせ	会員、学校等
8/18(土)19(日)	北守谷まつりバザー参加	会員等(立沢公園)
9/未定 9:00～	おだ作り, 稲刈り準備等	会員、学校等
9/未定 9:00～	田んぼの学校:稲刈り	小学校児童
9/下旬	脱穀, 粃すり	会員等
10/27(土)9:00～ 13:00～	おだ片付け, 除草等 定例打ち合わせ	会員等
11/24(土)9:00～	竹林整備(伐採)	会員等(立沢周辺竹林)

平成23年12月23日(土)の総会で決定された平成24年度の事業計画です。詳細については天候などの関係で変更することがあります。

1 竹林整備、加工作業

冬場の竹炭作業は12月23日(土)の竹林伐採作業に始まり、乾燥、加工して3月31日(土)に自然博物館内の炭窯まで運搬し、炭焼きの準備作業が終了しました。

しかし、今回は定例作業の月末土曜日に限って雨が降り、雨天延期の繰り返しで日程調整に難航しました。

1月22日(日)に予定していた自然博物館の野焼きも悪天候で中止になりましたが、どうも今年の冬は荒天続きで寒いようです。

しかし、そんなことで怯んではおれません。

2月25日(土)は雨天中止でしたが、今後の乾燥日程などを考えて、都合のつく者で翌日チェーンソーによる定尺裁断だけは済ませました。併せて海老原さんのご近所で伐採した竹もかなり立派な竹材だったので、可能な範囲で活用しようと裁断作業を行いました。

3月25日(土)も雨天で中止となりましたが、翌日には雨があがったので小割・節取り・結束作業を行いました。

ただ外は悪天候で大荒れでも竹林の中は比較的静かで、雨だけやんでくれれば風や寒さを凌ぐことができ、作業できることがわかりました。

翌週の31日(土)もまたまた雨天中止となり、放射能測定だけ行うことにしました。これは自然博物館へ持ち込む前段で測定しておいたほうが問題ないだろうとの判断によるものです。

そしてようやく、翌日の4月1日(日)に軽トラックで自然博物館内の炭窯まで運搬して窯詰めして準備が整い、例年通りの日程で炭焼きができることとなりました。作業に参加された方には繰り返し日程変更にも柔軟に対応していただき本当にありがとうございました。



竹林作業



3 木道橋の改築

現在の木道橋は6年前の平成18年に御前山の間伐材を入手したことをきっかけに、池の上に設置したものの(立沢里山新聞創刊号参照)で、補修を繰り返してきましたが腐食が激しく、これ以上の改修はほぼ限界、かなり危険な状態でした。

今回、近くの香取神社の風倒木を木杭に活用して、アサヒビールの基金で材料を購入して改築することになりました。

見積もりを取ると材料費だけでメートル当たり8万円以上とかなり高額となり、予算上も不可能であることから、木材を購入して手作りすることにしました。ジョイフル本田から防腐加工した木材を購入し、現地で加工組み立てした上に塗装を行ったので、今度は耐用年数が長くなるはず。幼児の安全を考え低めの手摺をつけました。大人はベンチ代わりに腰掛けることが出来る高さにしました。3月に加工製作を完了し、田んぼの準備と併行して設置作業を行いました。

最も大変な作業は杭打ちでした。昨年持ち込んで乾燥させてあった風倒木を防腐のために火入れして木杭とし、全て手作業によりカケヤで打ち込みましたが、足場が悪くかなりの重労働でした。



木道橋、木杭の加工製作



木杭打ち込み



昔、底なし池で3mの杭が沈んでしまった箇所もありましたが、数年前に危険箇所として埋め立ててからかなり経過していることもあり、今回はしっかりと支持力が確保できて安心です。
 完成した木道橋は道路からも良く見え、里山のシンボル施設となります。
 アサヒビール茨城工場を始め、ご協力ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

橋の架設完了



4 放射能の測定

3月31日(土)は竹の運搬作業の前に竹材や田んぼ、小川などの放射能測定を行いました。

これは、竹材を外部に運搬すること、製品を夏祭りバザーに出すには安全性の証明が必要になる可能性があること。何よりも春の田んぼの学校で田植えなどに参加する子供達の安全を確認するためです。

市役所から空間中のガンマ線を検知する放射線検知器を借用し、地表と地上1mの位置で測定しました。地表に近くなるほど高くなりますが、地表でもほとんどが0.2マイクロシーベルト/h前後でした。これは世界平均の自然放射能の年間被ばく量以下程度で問題となる数値ではなく、ひと安心というところです。

立沢里山の傾向としては、田んぼや湧水の周辺は最も低く 0.1μSv/h代ですが、河川内でヘドロなどが堆積した淀み箇所が比較的高い数値がでてきました。

ヘドロは時間が経過すれば、自然と流れていくものと思われる。



竹林内の測定



取水口周辺測定



5 炭焼き、窯だし

4月3日(火)の午前中に窯の火入れを行いました。台風並みの春の低気圧による暴風雨が接近しているとのことで、当日は余熱に留め午後一旦火止し引き揚げました。

翌日4日(水)に再点火し、本焼きを開始です。順調に温度が上がり、煙突を取り付けて竹酢液の改修を始め、6日(金)の夕方、6時半火止閉塞しました。煙突からの煙の色はまだ白かったのですが、窯の出口では透明であり、おそらく煙突内でタールが燃えて白い煙が出ていると判断して全面閉塞と判断しました。

竹酢液は6缶回収できました。結果的には例年と同じ期間で完了しました。

今年は例年より寒く桜の開花が遅れ、いつものように炭焼きしながらの花見ができなかったのが残念でした。

窯からの竹炭の取り出しは4月定例作業の28日(土)午後に行いました。今年は4回目となりますが、やはりこの瞬間が期待と不安が錯綜してハラハラします。開けてみるとかなり手前から炭が確認でき、焼きが少なかったかもしれないと心配しました。

結果的には隅や最下部で一部炭化しない部分がありましたが、全体的には上手く焼きあがったようです。そのかわり、例年に比して大量の竹炭が出てきて、窯から出すだけでも大変な作業でした。ただ、縦割りした炭が多く、水分の多い竹を使用したことになり、今後の課題です。我々もベテランになり、2年から3年ものの古い竹を伐採したつもりですが、見た目だけではなく、育った場所によっても水分量は違うものなのかもしれません。

アート用やマドラー用の竹炭はしっかりと強度のものが出てきて新たな発見でした。



6 田んぼの学校の準備作業

4月28日(土)の定例作業日は久しぶりに春らしい晴天に恵まれて、恒例の田んぼの準備作業を行いました。事前に水を引いてもいっこうに水が溜まりません。ひと冬の間にあちこちとモグラが穴をあけ、畦塗りの前に穴の修復作業が大変でした。

耕運機は昨年不調で修理したところですが、今年もやや元気がなく、だまだまして何とかシロカキを行いました。

シロカキ作業が終わって一休みしてしばらくすると、あちこちからカエルの合唱が聞こえてきました。

トノサマガエルなどカエルの種類によっては田植えが終わってから産卵するものもあり、暖かくなってきたので早くしてくれと催促しているのかもしれませんが。

今年は12日(土)に草刈、シロカキの仕上げ、15日(火)に田んぼの学校として3小学校の田植えを行う予定です。

